

第2部

・MC ステージにスタンバイ。

●本ベル

★客電ダウン

「東京オリンピックファンファーレ」

ピン：下手花道

・演奏終了

① 「オリンピックマーク」

(4のみ繰り返し返す。他は繰り返しせず2カッコへ。D.C.あり。)

・演奏スタート

・演奏終了

●(緞帳下げ状態)

・影アナ

・指揮者ステージにスタンバイ

●ファンファーレ隊は下手花道で演奏。

●演奏後半 緞帳上げ

(演奏終了で完全に緞帳が上がる)

・演奏開始後、ファンファーレ隊は良いタイミングで自分の演奏位置へ戻る

・演奏終了後、指揮者は台から降りて待ち。

「間もなく、第2部の開演です。どうぞ最後までお楽しみください。」

② 「栄光の架橋」

・曲紹介

「この夏に開催された東京オリンピック。東京での開催は、1964年以來となります。コロナ禍のもとで開催された今回のオリンピックで、日本は史上最多の金メダル27個を獲得し、華々しい活躍を繰り広げました。2冠に輝いた競泳の大橋悠依選手や体操の橋本大輝選手、兄弟で金メダルを獲得した柔道の阿部詩選手・阿部

ひふみ 一二三選手とレスリングの川井梨紗子選手・川井友香子選手、中国

の牙城を崩した卓球の水谷隼・伊藤美誠ペア、海外の強豪の壁を破ってメダルを獲得したフェンシングのエペ団体やバスケットボール女子チームなど、テレビでの観戦に日々夢中になられた方も多いのではないのでしょうか。第2部は、その『オリンピック』をテーマに、演奏をお届けします。司会の須藤静香です。（自己紹介）よろしくお願いたします。

一曲目は、オリンピックマーチをお届けしました。いかがでしたか。この曲は、1964年の東京オリンピックで入場する時に流れた曲なんですね。当時は思い出された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回の閉会式の入場行進曲でも使われていました。

次は2004年NHKアテネオリンピック公式テーマソング『栄光の架橋』です。競泳の北島康介選手の“超気持ちいい”というコメントが流行しましたよね。世界の大イベントを強力にサポートするゆずの代表曲です。挫折を乗り越えて進んでいこうという前向きな歌詞は、世代を問わず多くの人々の共感を集めています。本日は、シンフォニックアレンジでお送りいたします。二部の指揮は

わたなべりゅうのすけ
渡邊龍之介でお届けします。どうぞお聴きください。」

・演奏スタート

・演奏終了

★ステージやタウン

♪:MC

③ 「風が吹いている」

・MCは下手へ。

・演奏終了後、指揮者は台から降りて待ち。

・MCは下手から登場

・曲紹介

・MCは下手へ。

「いかがだったでしょうか。アテネ大会の体操男子団体では、日本が金メダルを決めた富田選手の鉄棒で、アナウンサーが「栄光への架橋だ！」と叫んだのをご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

次は、2012年ロンドンオリンピックのテーマソング、いきものがかりの『風が吹いている』です。体操競技では内村航平選手が、レスリングでは吉田沙保里選手が金メダルを取りました。また、女子サッカーなどでシジャパンが銀メダルを獲得し、日本中が活気に満ちあふれました。「選手にとっても応援している人にとっても二度と訪れない一瞬なので、同じ時代を生きていることを皆で共有したい」と、いつも以上に思い入れをこめて作られたこの楽曲は、美しさとともに力強さも感じられます。どうぞお聴き下さい。」

・演奏スタート

・演奏終了

★ステージややダウン

♪：MC

④ 「星影のエール」

・演奏スタート

・演奏終了

★ステージややダウン

♪：MC

・演奏終了後、指揮者は台から降りて待ち。

・MCは下手から登場

・曲紹介

・MCは下手へ。

・指揮者、台に上がる。

・指揮者、台から降りて一礼。

・指揮者、舞台袖に戻る。

・MC、下手から登場。

「次は、2020年のNHK連続テレビ小説「エール」より、G R e e e Nの『星影のエール』をお届けします。お客様の中には「オリンピックと関係ないのでは」と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが。この番組で、主人公のモデルとなったのが昭和を代表する作曲家、古関裕而（こせきゆうじ）です。二部最初に演奏した『オリンピックマーチ』を作曲された方です。爽やかで明るい雰囲気、そして希望に満ちあふれた素敵な曲です。どうぞお聴き下さい。」

「いかがだったでしょうか。ここで花束と祝電を紹介させていただきます。……ありがとうございます。また、毎年二部で行っていた指揮者体験につきましては、次回を楽しみにお待ちください。」

⑤ 「東京五輪音頭」

(楽譜通り1カッコに入って、リピートでAに戻る。その後、Codaへとぶ。)

・曲紹介

※MCの間に、「東京五輪音頭」の踊り隊は着替えて、下手花道傍で待機する。

・MCは下手へ。

「ではここで、団員の皆さんの衣装にご注目ください。ポロシャツの色が青、黒、赤、黄、緑の5色になっています。この5色は皆さんご存知の通りオリンピックカラーです。指揮者の渡邊先生はオレンジ色を着られています。聖火をイメージされているとのこと。では、渡邊龍之介先生にご登場いただきましょう。(渡邊先生登場) この度、益田市民吹奏楽団の指揮をされて、いかがだったでしょうか。(渡邊先生より一言) ありがとうございます。(拍手で渡邊先生は舞台袖に戻る。)

そしてもう一つ、譜面台のピクトグラムにもご注目ください。今回のオリンピック開会式では、50種目のピクトグラムパフォーマンスが披露され話題になりました。今日のステージでは、そのピクトグラムを楽器ごとに準備してみました。

皆さんは、今回のオリンピックではどのようなシーンが印象に残っているでしょうか。野球は正式競技で初めての金メダルを獲得しました。サッカーは銅メダル獲得にはなりませんでしたが、沢山の元気と感動を与えてくれました。あさって24日からは東京2020パラリンピックも開催されます。

オリンピックムードで盛り上がってきた二部も、次の曲で最後となります。二部最後の曲は、1964年東京オリンピックのイメージソング「東京五輪音頭」です。三波春夫さんをはじめ多くの歌手が歌い、盛んに踊られた楽曲です。踊りは2020年バージョンでお届けします。ご存知の方も初めて聞かれる方も、手拍子しながらどうぞお楽しみください。」

演奏スタート

・演奏終了

・指揮者、下手より登場。

・踊り隊は下手から登場。曲に合わせて踊る。

・演奏終了後、踊り隊は下手へ。

・指揮者の合図で団員起立。指揮者一礼し、下手へ。団員はコンミスの合図で座る。

・渡邊先生、MC須藤さん、登場しステージ中央付近へ。渡邊先生の合図で団員起立。お辞儀する。

・MC須藤さんは下手へ。

渡邊先生は指揮台へ。

※「ドリフ」の踊り隊はこの間に着替えて花道へ移動する。

・指揮者の合図で団員着席し演奏準備。

・演奏開始後、Aの前で踊り隊がホイッスルを吹く。

・Aに入ったら、踊り隊は手拍子しながら花道からステージに向けて走って登壇。(長さん役は団長)

・Aの演奏終了後、Bには入らず団長挨拶。

⑥ 「ドリフ」
・演奏スタート
(最初の繰り返し3回。
Eは1回繰り返し返して
Coda くまびさ (Fはしな
い)。
G繰り返しあり。
N繰り返し1カッコの
み、(2カッコ3カッコ
はせず) 4カッコへ。

団長「団長の田中です。本日は益田市民吹奏楽団第34回定期演奏会をご覧頂きました、誠にありがとうございました。本日は皆さん楽しんでいただけたでしょうか。

前奏	オープニング
B	ドリフ音頭(北海盆歌)
E	ぼん回り
G	ちよっただけよ(タブー)
H	ゴー・ウエスト
J	3小節目 ミヨちゃん
K	ズンドコ節
M	東村山音頭(4丁目)
N	ヒゲダンス(DO ME)
O	2小節前 ドリフの大爆笑(隣組)
P	ピバノン音頭(いい湯だな)

P 繰り返し返しあり。2 回目も 1 カッコに入り、Q からは渡邊先生作成の楽譜へ。

・演奏終了

★客電アップ
MC は影アナ

・団長の合図で、B から演奏再開。
踊り隊は、曲に合わせて踊る。

・E は、踊り隊はばらけて走って逃げる。
(上手、下手の近い方へ)

・G のソロは前に出て演奏。

・N は、踊り隊 2 ～ 3 名でヒゲダンスやバケツパフォーマンスをする。

・2 回目の P より、団長は演奏場所でマイクを使用して一言コメントを入れる。

・指揮者、指揮者、団員を立たせて一礼。

● 緞帳下げる。

この定演を開催するにあたって、司会 須藤静香さん、スタッフ 真庭卓也さん、大島啓作さん、受付のお手伝いの皆さん、グラントワスタッフの皆さんにご協力いただきました。ありがとうございます。この度は無観客での開催となりましたが、また次回、会場でお客様にお会いできることを団員一同楽しみにしております。みんな準備はええかいの？

じゃあ、アンコールいってみよう！」

— MC —

「以上をもちまして、第 34 回 益田市民吹奏楽団定期演奏会を終了いたします。次回、35 回目の定期演奏会で、お客様とお会いできることを心より願っております。本日は誠にありがとうございます。」